

令和元年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S13-03-01		
施設名	下田臨海学園				
所在地	静岡県下田市柿崎17-27				
部課名	教育委員会事務局学務課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	1968年	下田市から取得	-	-
	増改築①	1988年	620,998	0	0
増改築②	2016年	150,000	0	0	150,000
併設施設					
竣工年月日	昭和43年7月1日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和43年7月1日		職員数	0~4人程度	0~10人程度
構造	RC造(本園舎)、S造(増設園舎)		階層	2階(本園舎)、1階(増設園舎)	
面積	敷地面積		7,192.87 m <sup>2</sup>		
	延床面積		3,153.91 m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	荒川区立学校の児童及び生徒の心身の健康増進と集団生活に対する理解を図る。				
関連部署	指導室				
根拠法令等 設置条例	荒川区立夏期学園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社 クックランド	期間	平成20年度	から
					まで
事業内容	春及び秋に小・中学校の移動教室を実施し、夏期休業期間中に小学校の臨海学園(夏期施設)を実施している。施設の管理運営業務や児童・生徒の賄業務等については業務委託している。				
対象者	荒川区立学校の児童及び生徒				
運営時間等	運営時間	2泊3日で施設に宿泊し、移動教室及び臨海学園を実施。			
	休日				

施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	臨海学園参加者数(人)		1,238	662	1,358	1,441
移動教室参加者数(人)		2,432	2,380	2,396	2,384	2,500
臨海学園参加率(%)		95	97	97	98	100
移動教室参加率(%)		95	97	96	96	100
に指定 等管理 費理						

備考 臨海学園は小学校4年生、移動教室は小学校6年生及び中学校2年生を対象に実施している。また、増設園舎については、平成28年に開設しリース利用していたが、令和元年7月より区所有の建物になる。

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	81,139	78,111	▲ 3,028	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	442	1,316	874	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	4,558	4,650	92	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	22,577	22,577	0	その他	8,027	7,691	▲ 336
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8,027	7,691	▲ 336
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 100,689	▲ 98,963	1,726
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	108,716	106,654	▲ 2,062	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 100,689	▲ 98,963	1,726
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 100,689	▲ 98,963	1,726
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	50,040	12,510
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	221,919	205,059	▲ 16,860	賞与引当金	0	0	0
	土地	87,041	87,041	0	その他の流動負債	50,040	12,510	▲ 37,530
	建物	623,814	623,814	0	固定負債	12,510	0	▲ 12,510
	建物減価償却累計額	▲ 488,936	▲ 505,796	▲ 16,860	特別区債	0	0	0
	工作物等	4,209	4,209	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 4,209	▲ 4,209	0	その他の固定負債	12,510	0	▲ 12,510
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	62,550	12,510	▲ 50,040
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	308,341	335,804	27,463
	その他の固定資産	148,972	143,255	▲ 5,717	正味財産の部合計	308,341	335,804	27,463
	資産の部合計	370,891	348,314	▲ 22,577	負債及び正味財産の部合計	370,891	348,314	▲ 22,577

備考 行政費用では、委託料としての物件費が多くなっている。主な内訳としては、施設管理運営・賄業務委託、遊泳監視・看護業務委託、設備保守業務委託等がかかっている。

指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	76	79	81.2	79
	1㎡当たりコスト(円)	-	28,442	34,471	33,817	34,471
	利用者1人当たりコスト(円)	-	23,896	28,422	27,883	27,158
	経費に占める収入の割合(%)	-	9	7	7.2	7
備考	収入は賄費の保護者負担である。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	夏期施設参加率(%)	目標値 100 実績値 95	100 97	100 97	100 98	100 100
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成20年度から管理運営業務を委託。 ○ 無					
利用者・地域のニーズ	任意参加である夏期施設においても例年9割以上の児童が参加。児童参加率は高く、各学校の取組みも積極的であり、施設の必要性は高い。					
現状・課題	○本園舎(2,303.32㎡)の改築後30年が経過し、施設や機械・設備の老朽化が進行しており、計画的な修繕や更新が必要である。 ○文部科学省からの通知を受け、令和2年度までに個別施設計画を策定することになり、その計画を基に改修等を実施する。					
課題に対する現時点での考え	○老朽化設備等の修繕や更新を計画的に実施する。					
議会、利用者等からの意見	老朽化している施設や設備等の改修。					

